

# WLAC REPORT 2018

## World Liberal Arts Center Report



名古屋外国語大学  
ワールドリベラルアーツセンター長  
亀山 郁夫 (学長)

### 巻頭言

ここに名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンターの活動報告書「WLAC REPORT 2018」をお届けします。

1988年に開学した本学は、2018年4月に創立30周年を迎え、これを記念して本センターは、その節目の年にふさわしい種々の講演会やシンポジウム、コンサートなどを開催しました。

人間国宝、大槻文藏氏の講演会「能という演劇」を皮切りに、漫画家ヤマザキマリさん「異文化は発想の宝庫 異なる地理・時間・意識を漫画にする」、自称「物書きピアニスト」青柳いづみ子さん「フランス音楽の歓び」、アメリカ文学研究者で翻訳家の柴田元幸さん「翻訳せずにはいられない—小説訳して30年」など日本を代表する文化人によるもの、秋には、山極壽一京大総長をお招きしての特別講演など盛りだくさんのイベントを行いました。下半期は、新たにシリーズ化した「世界の文豪シリーズ」、さらにはCLED、学生課、図書館との共催による「世界言語12の燦めき」、その他言語教育の将来に関する種々の催しものを開き、本学の知的パワーを存分に発揮できた一年と自負しております。創立30周年の掉尾を飾るイベントは、脳科学者の酒井邦嘉東大教授をお招きしての講演「脳はどのように言葉を創るか」及びそれに附随するトリロジーシンポジウムでした。

以上、種々のイベントにご参加下さいました方々に心より御礼申し上げます。

また、今年度で第4号となる雑誌 Artes MUNDI (アルテス・ムンディ) は、今後、本センターの研究紀要としての性格も加味し、社会に向けてさらに知的発信を強めていきたい考えです。

本センターは、学術研究の深化、教養教育の質の向上、情報発信力の強化等を目的として、2015年に全学的な組織としてスタートし、最初のサイクルにあたる4年間の活動を終えましたが、次の4年間に向けてさらなる発展を目指します。

# 2018 年度 活動一覽

**講演会** 2018年4月20日(金)  
**人間国宝 大槻文蔵講演会「能という演劇」**  
 大槻 文蔵(人間国宝、能楽師)

30周年記念事業委員会  
 現代国際学部主催  
 WLAC 後援



**講演会(ワークショップ形式)** 2018年5月12日(土)  
**E.T. ホールを偲んで：文化とコミュニケーション**  
 ジョン・コンドン(ニューメキシコ大学名誉教授)

異文化コミュニケーション学会中部支部主催  
 WLAC 後援



**講演会** 2018年5月29日(火)  
**異文化は発想の宝庫 異なる地理・時間・意識を漫画にする**  
 ヤマガキ マリ(漫画家、文筆家)

世界教養学科主催  
 WLAC、30周年記念事業委員会、日本語学科後援

**講演会(演奏を含む)** 2018年6月5日(火)  
**フランス音楽の歓び ードビュッシー没後100年を超えてー**  
 青柳 いづみこ(大阪音楽大学教授、ドビュッシー研究家)

WLAC 主催  
 30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年6月12日(火)  
**アンリ・マチス ー二つの窓をめぐる物語ー**  
 森 美樹(愛知県美術館 主任学芸員)

フランス語学科主催  
 WLAC、30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年6月14日(木)  
**翻訳せずにはいられない ー小説訳して30年**  
 柴田 元幸(アメリカ文学研究者、翻訳家)

WLAC、CLED 主催  
 30周年記念事業委員会、出版会後援



**コンサート** 2018年6月20日(水) / 6月27日(水)  
**ランチタイム・ピアノコンサート**  
 斎藤 綾、倉橋 祐佳里(愛知県立芸術大学 大学院生)

WLAC 主催  
 30周年記念事業委員会後援



**講演会・座談会** 2018年6月21日(木)  
**リーダーなき世界の日本外交**  
**「ゴルゴ13とサッカーがもたらす安全と平和ー伝わる日本の外交力ー」**  
**「変容する世界と日本人の危機意識」**  
 江端 康行(外務省領事局邦人テロ対策室首席事務官)

世界共生学科主催  
 WLAC、30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年6月27日(水)  
**世界の文豪シリーズ 第1回**  
**ナボコフの『絶望』とダブル・ワールド**  
諫早 勇一 (名古屋外国語大学教授)

WLAC 主催  
30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年6月30日(土)  
**「Sharing Stories」**  
Michael Lacey Freeman (ELT 教材ライター、マルシェ工科大学講師)

英語教育学科主催  
WLAC、30周年記念事業委員会後援

**講演会** 2018年7月3日(火)  
**世界の食を旅するシリーズ「食と文化の世界地図」**  
佐原 秋生 ((社)日本エスコフイエ協会顧問、西武文理大学客員教授)

WLAC 主催  
出版会、30周年記念事業委員会後援



**朗読** 2018年7月17日(火)  
**現代狂言朗読『大猫又狩騒動』**  
たかべ しげこ (舞台女優、オペラ演出家)  
山田 信晴 (打楽器奏者)

WLAC 主催  
30周年記念事業委員会後援

**ワークショップ** 2018年8月22日(水)  
**新学習指導要領対応 教員応援ワークショップ**  
太田 光春 (名古屋外国語大学教授)  
佐藤 一嘉 (名古屋外国語大学教授)  
矢後 智子 (名古屋外国語大学講師)

英語教育学科主催  
WLAC、30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年9月8日(土)  
**グローバルビジネス学科主催ビジネス講演会**  
河本 宏子 ((株)ANA 総合研究所 代表取締役副社長)  
亀井 淳 ((株)イトーヨーカ堂前社長・経団連顧問)

グローバルビジネス学科主催  
WLAC、30周年記念事業委員会後援

**講演会** 2018年9月28日(金)  
**ゴリラから学んだ人間社会の由来**  
山極 壽一 (京都大学総長)

WLAC 主催  
30周年記念事業委員会後援



**公演** 2018年10月5日(金)  
**シェイクスピア A Midsummer Night's Dream 公演**  
ホワイトホースシアター (移動劇団)

WLAC 主催  
30周年記念事業委員会後援



## 2018年度 活動一覧

**講演会** 2018年10月20日(土)

### 思考力育成と言語教育

松本 茂 (立教大学教授、グローバル教育センター長)

大学院主催

WLAC、30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年10月24日(水)

### 世界の文豪シリーズ 第2回 ディケンズの『大いなる遺産』

甲斐 清高 (名古屋外国語大学准教授)

WLAC 主催

30周年記念事業委員会後援



**レシジョン** 2018年10月26日(金)

### カタストロフィの想像力とロシア文化

平野 啓一郎 (作家)

亀山 郁夫 (名古屋外国語大学学長)

中澤 敦夫 (富山大学教授)

乗松 亨平 (東京大学准教授)

日本ロシア文学会、名古屋外国語大学共催

WLAC、30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年10月29日(月)

### 映像翻訳の醍醐味と課題 ~映画字幕とAI翻訳

新築 直樹 (日本映像翻訳アカデミー代表)

桜井 徹二 (映像翻訳ディレクター)

日本語学科主催

世界教養学科、WLAC、30周年記念事業委員会後援



**コンサート** 2018年11月14日(水) / 12月5日(水)

### ランチタイム・ピアノコンサート

匂坂 実佳、古川 絢瑛、近藤 聡美、眞鍋 杏梨 (愛知県立芸術大学 大学院生)

WLAC 主催

30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年11月15日(木)

### 『ヨーゼフ・メンゲレの逃亡』フランス人作家、オリヴィエ・ゲーズ講演会

オリヴィエ・ゲーズ (フランス人作家)

西里 扶子子 (ジャーナリスト/元ドイツ国営放送 ZDF プロデューサー)

フランス語学科主催

WLAC、30周年記念事業委員会後援



**国際シンポジウム** 2018年11月17日(土) / 11月18日(日)

### ポーランドと日本における第二次世界大戦の記憶 ホロコーストと原爆を起点とする比較的アプローチ

ヤツェク・レオチャク (ポーランド科学アカデミー教授)

バルバラ・エンゲルキング (ポーランド科学アカデミー教授)

高橋 哲哉 (東京大学教授)

東 琢磨 (批評家)

ヨアンナ・トカリスカ = バキル (ポーランド科学アカデミー教授)

西 成彦 (立命館大学教授)

ピョートル・フォレッキ (ボズナニ、アダム・ミツケヴィチ大学准教授)

高橋 博子 (名古屋大学研究員)

加藤 有子 (名古屋外国語大学准教授)



JSPS 科研費「ポーランドの文学、美術、公共空間におけるホロコーストの記憶のジャンル横断的研究」(15KK0064, 15K16719) 主催  
WLAC 後援

**講演会** 2018年11月28日(水)  
**世界の文豪シリーズ 第3回**  
**ブルーストの『失われた時を求めて』**  
林 良児(名古屋外国語大学教授)

WLAC 主催  
30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年12月11日(火)  
**中国の交通インフラストラクチャー整備**  
永田 泰(川崎重工管理(上海)有限公司 董事総経理)

中国語学科主催  
WLAC、30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2018年12月12日(水)  
**世界の文豪シリーズ 第4回**  
**フォークナーの『行け、モーセ』**  
梅垣 昌子(名古屋外国語大学教授)

WLAC 主催  
30周年記念事業委員会後援



**セミナー** 2018年12月15日(土)  
**第3回 国際教養セミナー**  
発表:名古屋外国語大学学生  
審査委員:杉田 暁(中部大学中部高等学術研究所国際GISセンター准教授)  
金沢 和子(名古屋外国語大学名誉教授)  
松下 奈美子(名古屋産業大学現代ビジネス学部准教授)

国際教養学科主催  
WLAC、30周年記念事業委員会後援



**講演会** 2019年1月7日(月)  
**世界の文豪シリーズ 第5回**  
**ガブリエル・ガルシア=マルケスの『予告された殺人の記録』**  
野谷 文昭(名古屋外国語大学教授)

WLAC 主催  
30周年記念事業委員会後援



**コンサート** 2019年1月7日(月)  
**ギターで語るラテンの情熱**  
大萩 康司(ギタリスト)

CLED、WLAC 共催  
30周年記念事業委員会後援

**ワークショップ** 2019年1月12日(土)  
**英語教員ワークショップ**  
**From the Acquisition of Knowledge and Skills to their Application in Communicative Activities**  
吉田 研作(上智大学特別招聘教授)

英語教員ワークショップ主催  
WLAC、30周年記念事業委員会後援



## 2018年度 活動一覧

**ワークショップ** 2019年1月26日(土)

### その先のAI：人工知能に意識をもたせることはできるか

金井 良太 (株式会社アラヤ代表取締役 CEO)

現代英語学科主催

WLAC、30周年記念事業委員会後援



**ワークショップ** 2019年1月26日(土)

### 知の理論をひもとく (Unpacking TOK) ワークショップ第6回

進行役：田原 誠 (岡山大学)

森岡 明美 (岡山大学)

犬飼・ディクソン・キャロル (筑波大学)

井上 志音 (灘高等学校)

岡山大学アドミッションセンター主催

名古屋外国語大学、WLAC 後援



**シンポジウム** 2019年2月9日(土)

### これからの英語教育

#### 一入試、民間試験、高大連携一

浅川 照夫 (名古屋外国語大学教授)

田地野 彰 (名古屋外国語大学教授)

太田 光春 (名古屋外国語大学教授)

金丸 敏幸 (京都大学准教授)

岡田 毅 (東北大学教授)

英米語学科、英語教育学科共催

WLAC、30周年記念事業委員会後援



**講演会・コンサート・シンポジウム** 2019年2月23日(土)

### 脳と言語

酒井 邦嘉 (東京大学大学院教授)

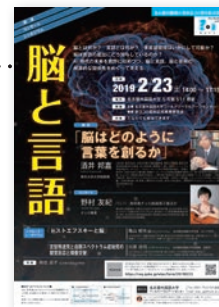
野村 友紀 (チェロ奏者)

亀山 郁夫 (名古屋外国語大学学長)

川原 功司 (名古屋外国語大学准教授)

WLAC 主催

30周年記念事業委員会後援



**シンポジウム** 2019年3月21日(木)

### ポーランド文学の多様性

イエジ・ヤジェンブスキ (ヤギェロン大学教授)

小川 信治 (画家)

久山 宏一 (東京外国語大学講師)

加藤 有子 (名古屋外国語大学准教授)

WLAC、東京大学文学部現代文芸論研究室共催

日本スラヴ学研究会後援

多摩美術大学小泉俊己研究室協力



**月間イベント** 2018年10月～2019年1月

### 世界言語12の燦めき

#### Brilliance of World Languages 12

CLED、学生課、図書館、WLAC 共催

30周年記念事業委員会後援





# 世界の文豪シリーズ

2018年度より「世界の文豪シリーズ」と題して、本学の文学研究者による連続講演を開始しました。学部横断的にリレーのバトンを受け渡すかたちで企画した今年度は、ウラジミール・ナボコフ、チャールズ・ディケンズ、マルセル・プルースト、ウィリアム・フォークナー、ガルシア・マルケスの作品に関する研究成果を現代的な視野で語っていただきました。

## 第1回 ナボコフの『絶望』とダブル・ワールド

ナボコフのロシア語小説『絶望』(1934)は分身(ダブル)のテーマのパロディとして論じられることが多いのですが、この作品は分身にかぎらず、いろいろな意味で二重性に溢れています。2018年6月27日(水)10:50から、本学図書館5階、多目的室にて、67名の方にご参加いただき、世界教養学科の諫早勇一教授による講演を開催しました。『ロリータ』の作家の新たな一面を深く学ぶ機会となりました。(司会 梅垣昌子)



## 第2回 ディケンズの『大いなる遺産』～分裂する作者、分裂する語り手

英国のディケンズは、国民的有名作家という大衆向けの顔の裏で、実は隠された別の人生を送っていたことが、死後、明るみに出ました。2018年10月24日(水)10:50から、本学図書館5階、多目的室にて、約60名の方にご参加いただき、英米語学科の甲斐清高准教授による講演を開催しました。ディケンズの代表作において、語り手である主人公が物語を語りながら、二重、三重の人格を呈していく様子が伺えました。(司会 梅垣昌子)



## 第3回 プルーストの『失われた時を求めて』～主人公<私>の無名性説をめぐって

プルーストの読者が、「長いあいだ、私は早く床に就いた」というこの作品の冒頭の一文から直面する「私」の呼称の問題については、研究者のあいだで解釈が二つに分かれています。2018年11月28日(水)13:20から、本学図書館5階、多目的室にて、78名の方にご参加いただき、フランス語学科の林良児教授による講演を開催しました。主人公<私>の無名性説をめぐって、詳細な分析がなされました。(司会 梅垣昌子)



## 第4回 フォークナーの『行け、モーセ』～語りの万華鏡、増殖する「私」

アメリカ南部の作家、フォークナーの円熟期の傑作といわれるこの作品では、先住民やアフリカ系の登場人物が活躍する壮大なスケールの神話的世界が展開します。2018年12月12日(水)10:50から、本学図書館5階、多目的室にて、74名の方にご参加いただき、英米語学科の梅垣昌子教授による講演を開催しました。語りの名手フォークナーのヨクナパトーフ・サーガが、主人公アイクの成長と老いの物語として読み解かれました。(司会 甲斐清高)



## 第5回 ガブリエル・ガルシア=マルケスの『予告された殺人の記録』～偶然か宿命か共同体の意志か

コロンビアのノーベル賞作家、ガルシア=マルケスのベストセラーとなったこの中篇は、ミステリーやジャーナリズムのリアリティーと面白さに高度な文学性が溶け合った総合的な作品です。2019年1月7日(月)13:20から、本学図書館5階多目的室にて、世界教養学科の野谷文昭教授による講演を開催しました。「事実に基づきながら幻想的に感じられる作品」について、本作の翻訳者が縦横に論じました。(司会 甲斐清高)

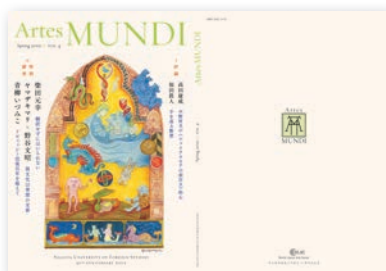


	開催日程	テーマ(作家)	講演者
第1回	6月27日(水)	ナボコフ	諫早 勇一(世界教養学科 教授)
第2回	10月24日(水)	ディケンズ	甲斐 清高(英米語学科 准教授)
第3回	11月28日(水)	プルースト	林 良児(フランス語学科 教授)
第4回	12月12日(水)	フォークナー	梅垣 昌子(英米語学科 教授)
第5回	1月7日(月)	マルケス	野谷 文昭(世界教養学科 教授)

# 発行冊子

## Artes MUNDI (アルテス・ムンディ)

(※ Artes MUNDI (アルテス・ムンディ) とは、ラテン語で「世界の技芸 (ぎげい)」のことをいいます。)



創立 30 周年記念の講演会のうちヤマザキマリ、柴田元幸、青柳いづみこの三氏の講演を掲載した。本学教員による長編評論に高田康成、福田真人などのものがある。恒例のコラム集はテーマを「夢」とし、36 名が寄稿した。今号は新たな試みとして甲斐清高、室淳子、梅垣昌子、

亀山郁夫の論文を掲載し、本誌の紀要としての性格を強めた。学内のみならず学外にも読者を獲得すべく発信するという方針のもと、さらなる研究成果の発表が期待される。

### 【目次】

- 三十周年記念特別講演
- 論文
- 評論
- テーマ書評 「世界をもっと知るために」
- コラム 「世界 ああ夢このゆめ」
- エッセイ 「教師と学生を結ぶ」
- 書評

## 編 集 後 記

ワールドリベラルアーツセンターはおかげさまで設立 4 年目を迎えました。本年度は、ちょうど名古屋外国語大学 30 周年に当たるため、その記念事業とも相まって、多彩な行事が催されました。本大学の特色を示す文学、文化・社会、言語教育、国際関係、グローバルビジネスといった分野にとどまらず、世界の音楽や日本の芸能など幅広い分野に渡った行事が催され、ワールドリベラルアーツセンターの名にふさわしい一年であったと自負しています。また、シリーズとなっています「ランチタイム・ピアノコンサート」や「世界をめぐる知的冒険への旅」に加えて、本年度から新たに「世界の文豪シリーズ」や「世界の食を旅するシリーズ」が始まりました。今後の発展をぜひ期待していただきたいと思います。

ここに至るまでには、大学内外の皆様の多大なるご協力なくしては実現できなかったことはいまでもありません。ここに深く御礼申し上げますと共に、21 世紀にふさわしい教養教育の実現をめざしてこれからも歩んでいきますので、引き続きご支援をお願いする次第です。

(副センター長 佐藤都喜子)

## 運営者名簿

### 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター

センター長	亀山郁夫 (学長)
副センター長	佐藤都喜子 (国際教養学科教授)
〃	野谷文昭 (世界教養学科教授)
運営補佐	梅垣昌子 (学長特別補佐・教育改革推進室長)
外国語学部担当幹事	甲斐清高 (英米語学科准教授)
	小山美沙子 (フランス語学科教授)
現代国際学部担当幹事	佐藤雄大 (現代英語学科教授)
	鶴本花織 (国際教養学科准教授)
世界共生学部担当幹事	地田徹朗 (世界共生学科准教授)

### 顧問

副学長	高梨芳郎
〃	蔵田敏明
〃	恒川孝司 (常務理事・法人事務局長・名古屋学芸大学副学長)
事務局	太田恵雄 (事務局長)
	後藤隆文 (庶務部長)
	戸田都

### 名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57  
電話：0561-74-1111 (代表) 0561-75-2164 (直通)  
Mail: wlac\_gg@nufs.ac.jp